

# SATO SEISEN

PRODUCT GUIDE



 株式会社 佐藤製線所

本社工場 室蘭工場 三沢工場

## ■ 会社概要

- 1、商号 株式会社 佐藤製線所
- 2、所在地 〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字江下111
- 3、事業内容 伸線業、各種線材製品、鉄筋加工品の製造販売
- 4、資本金・株主 45百万円 (株)佐藤ホールディングス 100%
- 5、従業員 78名
- 6、設立・沿革
- 昭和21年11月 佐藤製釘所 個人創業
  - 昭和25年02月 (株)佐藤製線所 設立
  - 昭和40年04月 北進製釘(株)をグループに加入
  - 昭和46年02月 (株)福岡鉄筋をグループに加入
  - 昭和48年09月 共振工業(株)をグループに加入
  - 昭和52年04月 (株)佐藤製線室蘭工場に商号変更(北進製釘)
  - 昭和52年05月 (株)佐藤製線三沢工場に商号変更(共振工業)
  - 昭和52年06月 (株)佐藤製線二戸工場に商号変更(福岡鉄筋)
  - 平成13年11月 ISO 9001:登録認証 (株)佐藤製線室蘭工場
  - 平成16年01月 ISO 9001:登録認証 (株)佐藤製線所
  - 平成20年07月 4工場、佐藤HLDの100%子会社として新規設立
  - 平成23年02月 三沢工場と二戸工場が合併、二戸工場閉鎖
  - 平成24年07月 室蘭工場・三沢工場を吸収合併
  - 平成29年11月 ISO 9001:登録認証 (株)佐藤製線所 三沢工場
  - 令和4年03月 新室蘭工場を完成
  - 令和5年03月 JIS溶接金網及び鉄筋格子を本社と三沢工場が統合
  - 令和5年05月 JIS鉄線を本社と三沢工場が統合

- 7、取引銀行 七十七銀行、北海道銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行
- 8、主要取引先 日鉄物産株式会社、日鉄物産ワイヤ&ウェルディング株式会社、メタルワン鉄鋼製品販売株式会社、片山鉄建株式会社、中山通商株式会社、合鐵産業株式会社、株式会社シグママット、大手ゼネコン各社、官公庁 他
- 9、主要材料仕入先 日本製鉄株式会社、合同製鐵株式会社、株式会社中山製鋼所 他

### 10、各工場

#### 本 社 工 場

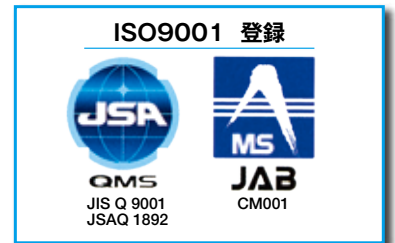
従業員数：43名  
 事業内容：線材二次製品（なまし鉄線、鉄線、溶接金網、直線及び丸棒加工品、各種フープ筋の製造販売）  
 所在地：〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字江下111  
 TEL.0223-34-3211(代) FAX.0223-34-3143

#### 室 蘭 工 場

従業員数：13名  
 事業内容：線材二次製品（なまし鉄線、鉄線、番線、直線及び丸棒加工品の製造販売）  
 所在地：〒050-0052 北海道室蘭市香川町37-24  
 TEL.0143-83-6083 FAX.0143-83-6084

#### 三 沢 工 場

従業員数：17名  
 事業内容：線材二次製品（なまし鉄線、鉄線、溶接金網、直線及び丸棒加工品の製造販売、住宅基礎）  
 所在地：〒033-0073 青森県上北郡六戸町金矢一丁目5-3  
 TEL.0176-57-1105(代) FAX.0176-57-4441



## 鉄線



### 鉄線

普通鉄線、コンクリート用鉄線、チェーン用鉄線、シートフレーム用鉄線など幅広くご用意しています。

線径 最小 1.50 mmから最大 12.8 mmまで製造加工

質量 25kgから 2,000kg

### 鉄線



〔エコクリーン機〕



## なまし鉄線



〔自動結束機〕



〔なまし鉄線 25kg巻、50kg巻〕



〔サトーばんせん〕



〔自動制御なまし炉〕



〔キャリアなまし鉄線 750kg巻〕



〔ポビン巻なまし線〕

# SATO SEISEN

## 溶接金網 及び 鉄筋格子 JIS G 3551

〔本社工場・三沢工場〕

直線・直棒・丸棒

直棒機

丸棒切断機



直線・直棒・丸棒に関しては、溶接金網及び鉄筋格子用の材料以外にも一般用、建築土木用等、幅広いご要望にお応えする為に、鉄線直線 \*1・直棒 \*1・メッキ直線 \*1・なまし直線 \*1・丸棒をご指定の長さにかットした製品を製造しております (\*1の製品については、室蘭工場でも取扱っております)。



溶接金網機 1

溶接金網機 2



### 1 重量表

#### ■ 1.1 溶接金網

線径	線径(mm)	2.6	3.2	4.0	5.0	6.0	
網目(mm)	サイズ(m)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	2×4
50×50	質量(kg)	3.36	5.04	7.92	12.32	17.76	—
100×100	質量(kg)	1.68	2.52	3.94	6.16	8.88	35.52
150×150	質量(kg)	—	1.76	2.77	4.32	6.22	24.42

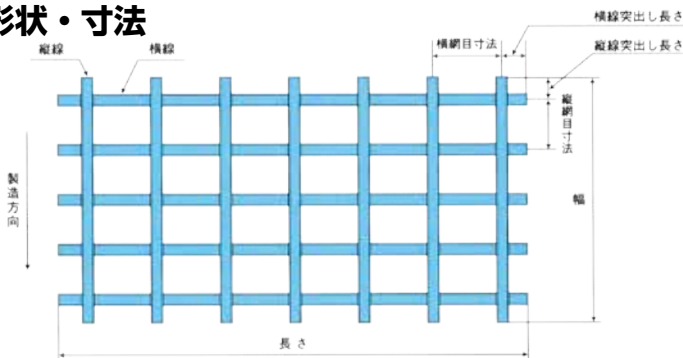
#### ■ 1.2 鉄筋格子

線径	線径(mm)	D6		D10		D13	D16
網目(mm)	サイズ(m)	1×2	2×4	1×2	2×4	1×2	1×2
100×100	質量(kg)	9.96	39.84	22.4	89.6	39.8	62.4
150×150	質量(kg)	6.96	27.39	15.68	61.60	27.86	43.68

●規格サイズ1M×2M、2M×4M。

●別途打ち合わせにより特注サイズも承っております。

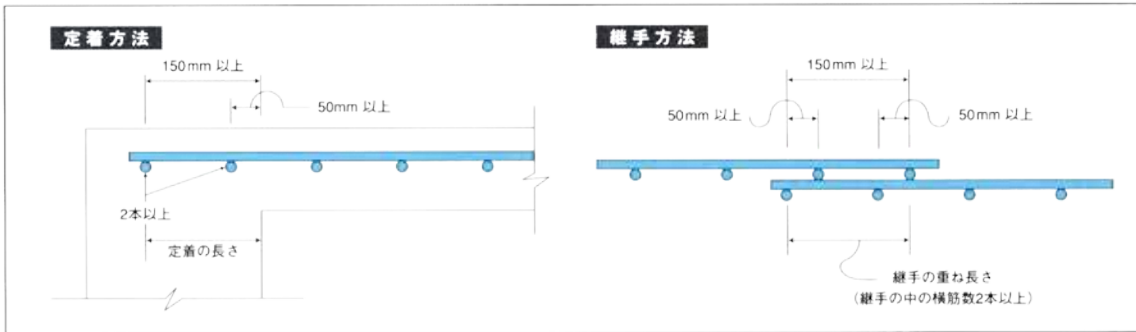
### 2 形状・寸法



# SATO SEISEN

## 溶接金網 及び 鉄筋格子 JIS G 3551

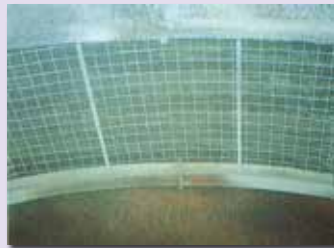
### 3 定着・継手方法 (建築工事標準仕様書 JASS5抜粋)



※注意 鉄筋格子については、上記の定着・継手方法によらず特記によるものとする。

### ■ 土木用

#### ● NATM工法に



#### ● 盛土工法に



### ■ 建築用

#### ● ビル屋上シンダーに



#### ● 合成スラブに



### ■ コンクリート二次製品



### ■ 住宅基礎鉄筋 [布基礎・ベタ基礎]

〔三沢工場〕

#### ■ スポット溶接

ユニット鉄筋

事前に工場でユニット化されている為、材料の無駄を抑え、様々な仕様形状にも対応できます。又、工場での機械生産により精度の高い製品が生産される為、現場での施工精度も高いレベルにて維持されます。



### ■ SSユニベース

〔三沢工場〕

#### ■ SSユニベースの特徴について

事前に工場でユニット化されている為、材料の無駄を抑え、様々な仕様形状にも対応できます。又、工場での機械生産により精度の高い製品が生産される為、現場での施工精度も高いレベルにて維持されます。



(財)日本建築センター評定章  
DC-JLCO156

#### べた基礎

べた基礎とは、建物を支える下部構造で建物の底部のコンクリートがすき間がなく連続し、基礎の底部が一枚の板状になっている基礎。

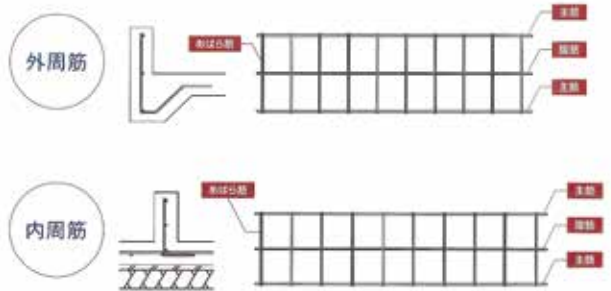


#### 布基礎

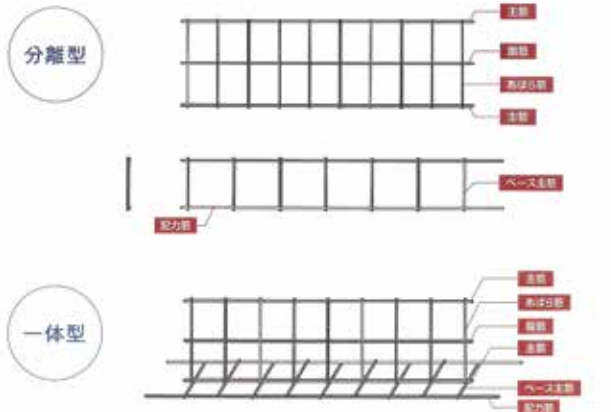
布基礎とは、建物を支える逆丁型をした基礎の一種で、最も一般的な基礎のこと。



#### ■ べた基礎用組み立て鉄筋



#### ■ 布基礎用組み立て鉄筋



#### ■ SSユニベースの鉄筋継手性能について

「SSユニベース」は、鉄筋相互の緊結(スポット溶接)した組立鉄筋です。

鉄筋の溶接部、使用鉄筋(せん断補強筋)の母材の短期許容応力度の1/3以上2/3以下の強度を確保できる組立鉄筋です。従来の結束による緊結強度を確保します。



べた基礎、分離型専用機



布基礎専用機

# SATO SEISEN

## 獣害柵

〔本社工場・三沢工場〕

オプション門扉設置例  
(門扉オープン!!)



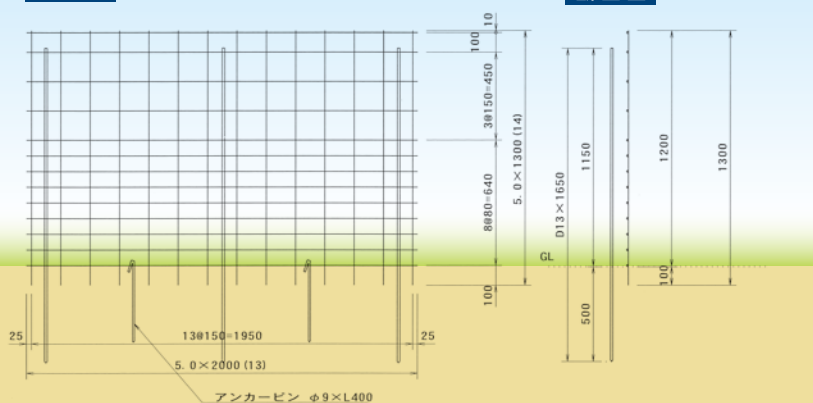
- 1 強度と高さにより進入を防ぐ  
鋼製ワイヤーメッシュ物理柵
- 2 地形及び対象動物に合わせて製作可能  
門扉設置も自由自在
- 3 設置も簡単(支柱打ち込み番線結束)  
破損箇所もパネル入れ替えで  
簡単修理
- 4 電気柵と併用も可能  
状況に応じ様々な要望に応えられる



平面図

標準タイプ

断面図



### 施工も簡単

ハンマーで支柱を打ち込み、本体をセットして結束するだけです。  
最後に補強用のアンカーピンを地中400mm~500mm打ち込み完成です。

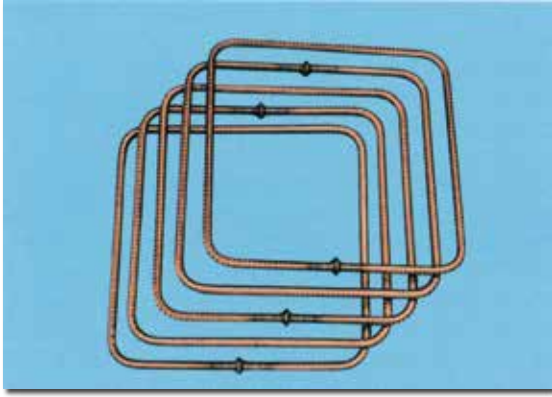
- 上記以外の仕様、サイズも承っております。お気軽に弊社工場にご用命ください。  
耐久性に優れた、錆びにくい**メッキ仕様**もあります。(別途オプションにて御用意しております)

### 農援まもるクン標準部材

本体	φ5.0×1,300×2,000	6.80kg/枚
支柱	D13 L=1,650mm	1.64kg/本
アンカーピン	φ9.0 L=400mm	0.23kg/本

### リバーボン785

〔本社工場〕



〔溶接閉鎖形〕



〔アプセット溶接〕



〔溶接閉鎖形を柱に仕様した配筋例〕

#### 特徴

- 降伏応力度785N/mm<sup>2</sup>級の熱間圧延線材コイルから加工、製造されるため、安定した品質
- 鋼棒の表面形状は加工性に優れた異形棒鋼4条リブ
- 製品形状は溶接閉鎖形、フック付閉鎖形、フック付中子形、スパイラル形に対応
- 溶接部は安定した品質のアプセット溶接を採用

#### 用途

- RC造の柱・梁の高強度せん断補強筋

#### 製品認定・認証

- 国土交通大臣認定：国住指第356号、認定番号MSRB-9007
- (一般)日本建築センター評定：BCJ-C2027,BCJ評定-RC0444
- (一般)日本建築センター評定：BCJ-RC0316

### 仕様

#### ●機械的性質

種類	試験片	降伏点 N/mm <sup>2</sup> (kgf/mm <sup>2</sup> )	引張強さ N/mm <sup>2</sup> (kgf/mm <sup>2</sup> )	伸び(%)	曲げ性能	
					曲げ角度	内法直径
KW785	母材	785以上(80)	930以上(95)	8以上	180°	3d
	溶接部			5以上		

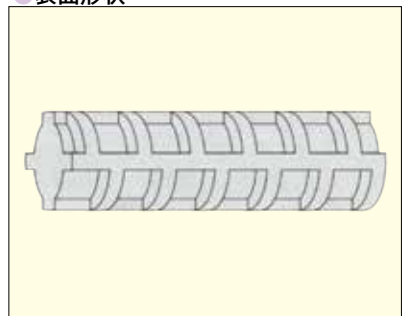
#### ●種類・寸法・単位質量

種類	呼び名 (mm)	公称直径 (mm)	公称周長 (cm)	公称断面積 (cm <sup>2</sup> )	単位質量 (kg/m)	質量の許容差 (%)
KW785	K10	9.53	3.0	0.7133	0.560	±6
	K13	12.7	4.0	1.267	0.995	±6
	K16	15.9	5.0	1.986	1.56	±6

#### ●製品寸法の範囲

加工形状	呼び名	溶接閉鎖形	フック付き形	スパイラル形
角形	K10	250~1500(mm)	350~1500(mm)	350~1320(mm)
	K13			
	K16			
丸形	K10	—	500~1500(mm)	500~1500(mm)
	K13			
	K16			

#### ●表面形状





### SSフープ

[本社工場]

#### 製品



#### 特徴

- 熱間圧延線材コイルから加工、製造される為、安定した品質
- 溶接部は安定した品質のアセット溶接を採用
- 強度と剛性が母材並みとするA級継手性能を有する製品

#### 用途

- RC造の柱・梁に使用する溶接閉鎖形せん断補強筋

#### 製品認定・認証

- (一般)日本建築センター認定:BCJ-RC0483

### SSフープ製品の標準寸法

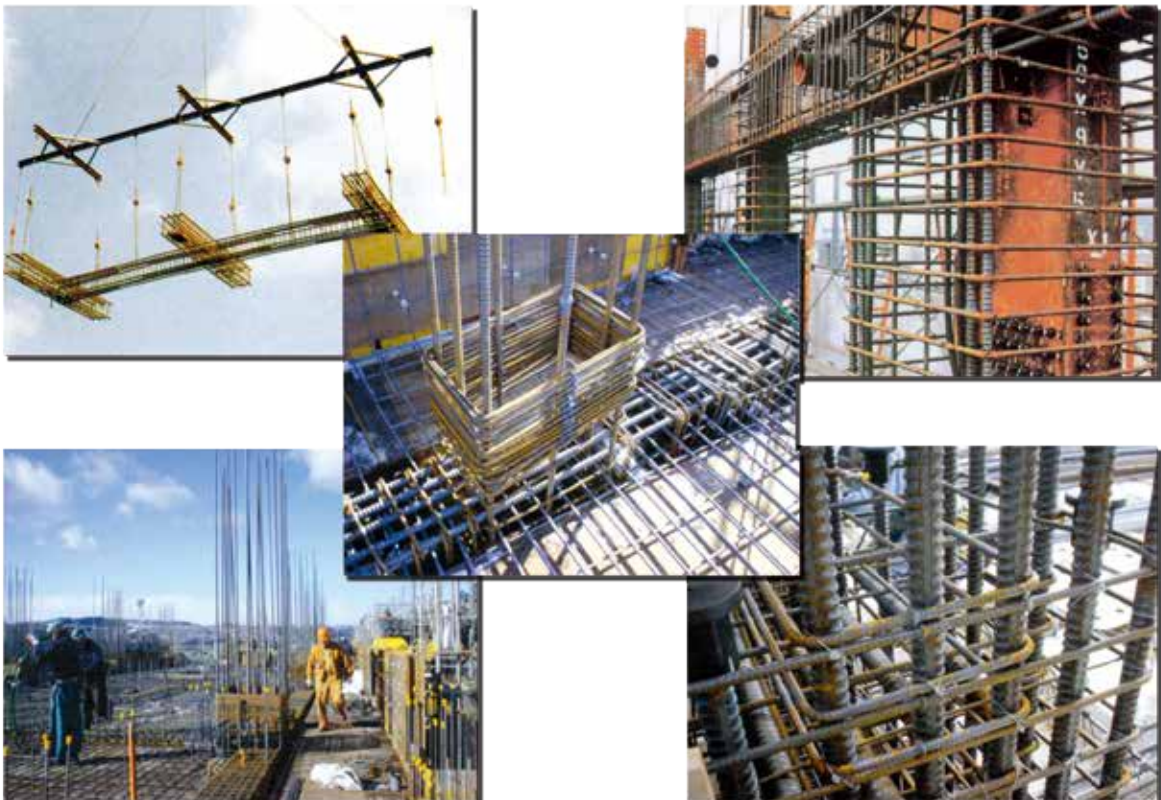
SSフープの標準寸法を下記に示します。特殊サイズ品については御相談に応じます。

材料の径	四角形(矩形、正方形) (mm)		円形(mm)	
	最大長辺	最小短辺	最大加工直径	最小加工直径
D 10	2,000	250	1,500	450
D 13	2,000	250	1,500	480
D 16	2,000	250	1,500	560

(一般)日本建築センター認定:  
BCJ-RC0483

種類: SD295A  
呼び名: D10、D13、D16  
形状: JIS G 3112  
熱間圧延異形棒鋼

### 施工例



# SATO SEISEN

## 角形・円形SSスパイラルフープ

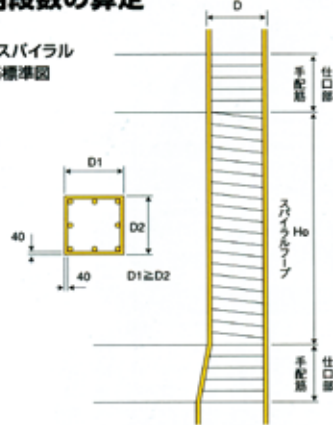
〔本社工場〕



製作可能寸法	鉄筋径(質量)	D10 (0.56)	D13 (0.995)	D16 (1.56)	鋼種	重量算定法
角形スパイラルフープ	350×350~1320×1320mm 加工辺比率 1:2 以下	○	○	○	SD295A SD345	(外寸+外寸)×2×単位重量にて1段当りの単位重量を求める。(有効数字3桁)×段数フック付きの場合0.25段プラスする。 外径×π×単位重量にて1段当りの単位重量を求める。(有効数字3桁)×段数フック付きの場合0.25段プラスする。
円形スパイラルフープ	φ200~1500mm	○	○	—	SD390	

### 1 使用段数の算定

● SSスパイラル配筋標準図



加工可能段数…… D10の場合/最大20段(但し一製品重量60kgまで)  
D13の場合/最大20段(但し一製品重量60kgまで)  
D16の場合/最大20段(但し一製品重量60kgまで)

高強度筋のスパイラルフープも製作可能です。

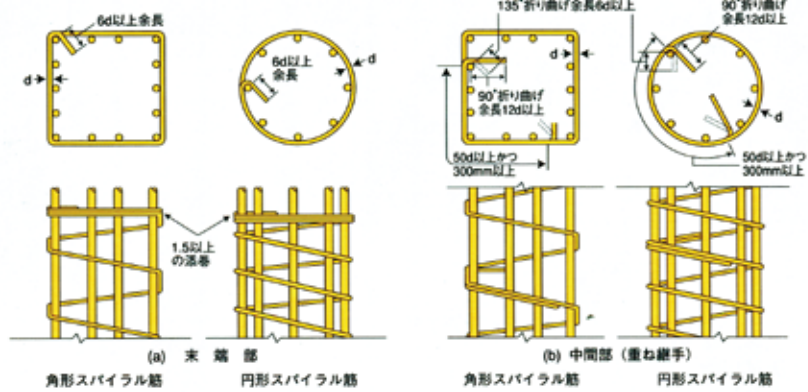
● 使用段数計算

中間継手が無い場合	段数 $n = \frac{H_o}{P} + 3$	Ho: 有効高さ = 階高 - 梁成 P: スパイラルピッチ
中間継手がある場合	2分割 3分割 4分割	上記で求めた段数に1段加える 上記で求めた段数に2段加える 上記で求めた段数に3段加える



### 2 スパイラル筋の末端処理及び継手 (JASS 5)

末端	SSスパイラル筋の末端は、柱、梁共、1.5巻き以上の添巻きとし、6d以上の余長を持つ曲角135°(45°)のフックをつける。(または溶接)
継手	重ね継手は、重ね長さ50d以上、かつ300mm以上とし、12d以上の余長を持つ曲角90°のフックをつける。(または溶接)



### 3 ピッチによるスパイラル筋の圧縮影響について

ピッチ	100mm	200mm
呼称寸法	500×500mm	500×500mm
受注寸法	420×420mm	420×420mm
角度	約3.3度	約6.5度
圧縮影響	420→419.3 (一辺で0.7mm)	420→417.3 (一辺で3.0mm)

注: 上記計算値により、施工上、同一寸法のスパイラルフープのピッチを中間で拡げることには、問題ないと思われます。

■ SRC・RCの建物に



## 登録証、認定書、評定書

### ISO9001登録証



### 日本産業規格認定書



		鉄線 JIS G 3532	溶接金網及び鉄筋格子 JIS G 3551
認証番号	本 社 工 場	QA0206004	QA0208002
	室 蘭 工 場	TC0122001	—
	三 沢 工 場	QA0206004	QA0208002

### 評定書



SSユニベース



リバーボン 785



SSフープ

# 佐藤製線グループ

## 株式会社 佐藤ホールディングス

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町三丁目7-1 (電力ビル4階)  
TEL.022-212-4680 FAX.022-212-4688

## Σmat Inc (株式会社シグマット)

〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字裏城戸17番地  
TEL.0223-34-3131 FAX.0223-34-3642

### 青森支店

〒038-1304 青森県青森市浪岡大字高屋敷字社元1-1  
TEL.0172-62-7555 FAX.0172-62-9873

### 秋田支店

〒011-0944 秋田県秋田市土崎港穀保町130-1  
TEL.018-857-1755 FAX.018-857-3022

### 盛岡支店

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南三丁目8-15  
TEL.019-637-1881 FAX.019-638-6104

### 山形支店

〒990-2323 山形県山形市桜田東四丁目5-20  
TEL.023-623-4210 FAX.023-623-4227

### 仙台支店

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東三丁目2-7  
鉄鋼建材部 TEL.022-287-1611 FAX.022-287-1625  
鉄骨ビル建材部 TEL.022-287-1615 FAX.022-287-1630  
外装建材部 TEL.022-287-1615 FAX.022-287-1630  
建設部 TEL.0223-34-4101 FAX.0223-34-7924

### 宮城支店

〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字裏城戸17番地  
TEL.0223-34-3891 FAX.0223-34-5190

### 福島支店

〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字中核工業団地39-4  
TEL.0248-53-4001 FAX.0248-53-4004

### 東京支店

〒343-0827 埼玉県越谷市川柳町1-336-1  
TEL.048-961-7650 FAX.048-961-7651

## 株式会社 佐藤製線所

### 本社工場

〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字江下111  
TEL.0223-34-3211 FAX.0223-34-3143

### 室蘭工場

〒050-0052 北海道室蘭市香川町37-24  
TEL.0143-83-6083 FAX.0143-83-6084

### 三沢工場

〒033-0073 青森県上北郡六戸町金矢一丁目5-3  
TEL.0176-57-1105 FAX.0176-57-4441

## 東北セラミック 株式会社

〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字江下111  
TEL.0223-34-5562 FAX.0223-34-5325

## 株式会社 山元スライシング

〒989-2445 宮城県岩沼市桑原3丁目2-6  
TEL.0223-23-2808 FAX.0223-23-2881

## 株式会社 オビコ

〒061-3242 北海道石狩市新港中央3丁目762-10  
TEL.0133-64-2051 FAX.0133-64-2052

## 株式会社 青森ビルテック

〒038-1304 青森県青森市浪岡大字高屋敷字社元1-1  
TEL.0172-55-0193 FAX.0172-55-0195

## 株式会社 秋田ビルテック

〒011-0944 秋田県秋田市土崎港穀保町130-1  
TEL.018-880-5366 FAX.018-880-5360

## 株式会社 岩手ビルテック

〒027-0025 岩手県宮古市実田一丁目3-17  
TEL.0193-65-9030 FAX.0193-65-9031

## 株式会社 宮城ビルテック

〒989-5502 宮城県栗原市若柳字川南新堤下277-1  
TEL.0228-32-6411 FAX.0228-32-4217

## 東北硝子建材 株式会社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東3丁目2-7  
TEL.022-781-7167 FAX.022-781-7197

## 株式会社 福島ビルテック

〒963-0547 福島県郡山市喜久田御一丁目20-1  
TEL.024-959-6032 FAX.024-959-6776